

ニカラグア定期報告（2022年4月）

【要旨】

内政面では、2018年4月に勃発した社会騒乱から4周年を迎え、国外ではいくつかの追悼デモが行われたが、国内では目立った出来事はなかった。外交面では、24日、ニカラグア政府は、効力発生のために必要な2年間の経過期間を待たずに、OASから即時脱退することを表明し、当地OAS事務所の閉鎖とOAS代表部大使の召還を行った。

【主な出来事】

1 内政

（1）2018年4月の社会騒乱から4周年

ア 19日、ムリージョ副大統領は、インタビューの中で、2018年4月の反政府デモに参加した者を平和や国を壊す行為を行ったとして改めて批難した。

イ 同日、コスタリカに亡命中のニカラグア人団体は、サン・ホセ市にて社会騒乱4周年を追悼するデモを行った。また同様のデモがマイアミでも行われた。一方、国内では目立った出来事は見られなかった。

ウ 同日、ブライアン・ニコルズ米 국무次官補は、社会騒乱の被害者を追悼するコメント及び動画を自身のツイッターアカウントに投稿した。また、国連人権高等弁務官事務所も、被害遺族や拘束されている人々に対して連帯の意を示した。

（2）NGOの法人格停止

20日、ニカラグア国会は、内務省からの要請を受けて、新たに25国内NGOの法人格の停止を承認した。

（3）地震発生情報

21日午前1時42分、マナグア県マサチャパ太平洋沖南西54キロを震源とする、マグニチュード6.8の地震が発生した。これによる人的、物的被害は出ていない。

（4）4月26日までの当国における新型コロナウイルスを巡る情勢は以下のとおり。

ア 保健省（MINSA）の週間レポート

26日、MINSAは同日時点の国内感染状況について19日から26日までの週間レポートを発表したところ、概要以下のとおり（（ ）は前回数値）。

- ・新規感染者数：27名（49名）
- ・累計感染者数：14,395名（14,371名）
- ・新規死亡者数：1名（1名）
- ・累計死亡者数：234名

・累計治癒者数：14,116名（14,089名）

イ 市民監視団体の発表概要

9日、当国市民監視団体（Observatorio ciudadano COVID-19 Nicaragua）は、3月24日から4月6日までの2週間についてレポートを発表したところ、概要以下のとおり（（ ）は前回数値）。

・新規感染者数：31名（31名）

・累計感染者数：32,174名（32,174名）

・新規死亡者数：2名（3名）

・累計死亡者数：5,994名（5,991名）

ウ コロナ関連供与

3月30日、欧州連合及びスペイン国際開発協力庁（AECID）よりマスク230万枚、アクテムラ200瓶が供与された。

2 外交

（1）国連人権理事会におけるニカラグア人権状況決議の採択

3月31日、国連人権理事会において、「ニカラグア人権状況」決議が、賛成20票、反対7票、棄権20票をもって採択された。本決議は、ニカラグア人権状況の悪化に深い懸念を表明しつつニカラグア政府に対応を求めるとともに、特に2018年以降に行われた人権侵害の可能性について調査する3名の専門家から成るグループを結成し、情報や証拠を収集、保護、分析を進めていくことを内容とするもの。

（2）国際機関における資格停止を非難

8日、ニカラグア政府は、ロシアの人権理事会資格停止に関する国連総会決議採択を受け、これを非難するプレスリリースを発出した。

（3）コロンビアとの係争に係る国際司法裁判所判決

21日、コロンビアと係争中であった「カリブ海における主権的権利及び海洋区域に関する侵害」事件に関し、国際司法裁判所（ICJ）は判決を下した。ニカラグア側では、同判決を勝訴として歓迎するコメントを出した。

（4）OASからの即時脱退表明関連

ア 24日、ニカラグア政府は、脱退通告2年後（2023年11月）の効力発生を前に即時脱退を表明した。併せて、OAS代表部ニカラグア大使の召還、及びOASニカラグア事務所の閉鎖も行った。

イ この表明に対して、ミゲル・ディアス・カネル・キューバ大統領、ニコラス・マドゥーロ・ベネズエラ大統領、エボ・モラレス元ボリビア大統領などが支持を表明した。また、米州ポリバル同盟（ALBA）なども支持を表明した。

ウ 26日、ムリージョ副大統領は、定例会見において、OASニカラグア事務所であった建物を、「悪名の博物館(Museo de la infamia)」設置のため公益利用することを宣言し接收することを発表した。翌27日に開催されたOAS常設理事会において、参加各国はニカラグア政府による本件措置を強く非難した。

エ 28日、ブライアン・ニコルズ西半球担当米國務次官補は、6月に開催予定の米州首脳会議にニカラグア、ベネズエラ、キューバを招待しない旨会見で述べた。

(5) ベネズエラ外相のニカラグア訪問

25日、フェリックス・プレセンシア・ベネズエラ外務大臣は、二国間経済合同委員会に向けた事前協議のためニカラグアを実務訪問した。

(6) 中国との協力協定締結

27日、ニカラグア政府は、中国政府と「住居プロジェクト」に関する4億元（6,000万米ドル）規模の協力協定にバーチャルで調印した。

3 経済

(1) ガソリン価格高騰

ア 6日、運輸インフラ省は、都市間移動バスの運賃を20～25%値上げすると発表した。なお、市内循環バスの運賃については現在交渉中である。

イ 8日、政府は、10日以降のガソリン価格の値上げ分を政府が100%補填すると発表した。

(2) ニカラグア中央銀行（BCN）の発表

ア 4日、2021年の失業者数は、2017年から回復の兆しがなく、3.7%になったと発表した。

イ 7日、2022年1月の預金額は前年同期比9.3%増の2,641億コルドバ、貸付額は同9.4%増の2,174億コルドバであったと発表した。

(3) 経済成長予想

ア 7日、世界銀行（WB）は、2022年のニカラグアGDP成長率を2.9%に下方修正した。

イ 20日、国際通貨基金（IMF）は、2022年のGDP成長率を3.8%との予想を発表した。

(3) 物価指数の上昇

7日、開発情報庁（INIDE）は、2022年3月の一般家庭の主要必需品計53品目の合計（Canasta Básica）が16,998コルドバ（6万993円）に達したと発表した。

<主要経済指標>

	2020年	2021年	2022年		
			2022年 1月	2022年 2月	2022年 3月
インフレ率（対前年同月）	0.29%	1.1%	0.70%	1.62%	2.80%
貿易収支（百万ドル）	▲1,559.9	▲2,548.0	▲239.1	▲181.2	未発表
輸出 FOB（百万ドル）	2,851.9	3,510.6	326.7	318.6	未発表
輸入 FOB（百万ドル）	4,411.9	6,058.6	565.9	499.8	未発表
海外送金受取額（百万ドル）	1,851.4	1,682.4	194.7	202.2	未発表
外貨準備高（百万ドル/期末）	3,211.9	4,046.6	4,086.6	4,135.4	4,208.8

（出典：ニカラグア中央銀行、インフレ率のみ開発情報庁（INIDE））